

## 投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費 (内用地補償費)	億円
		通常砂防事業 なかおくやま 中奥山川	城崎郡竹野町 はじかみ 椒		約1.1 (約4百万円)
所在地				着工予定年度	完成予定年度
城崎郡 竹野町 椒				H14年度	H16年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流であり、土砂災害の危険性が高いため、対策堰堤工を設置することにより、地域住民の人命・財産を保全する。			・砂防堰堤工 1基 コンクリートスリット堰堤 (H=10.5m, L=44m)		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		・中奥山川は土石流危険渓流である。 ・流域の荒廃は広範囲に進んでいるが、砂防設備は未設置である。 ・保全対象：人家=16戸、公共施設=公民館、県道日高竹野線 ・第三紀層からなる脆弱な地質である。 ・生活道路である県道が被災すると一時的に地域が分断される。			
地域の活性化		・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され下流域の有効な土地利用が図れるようになる。			
快適性・ゆとり		・堰堤工の設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより安全で快適な生活空間を提供する。			
その他		・地元からの事業化への要望が強い。 ・過疎対策法対象町、山村振興指定地及び豪雪地帯対策特別指定地域に該当し、砂防堰堤工の整備により地域間格差の是正に寄与する。			
(2)有効性・効率性 有効性		・人命及び財産(人家16戸)及び避難場所になっている公民館、県道が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。			
効率性		・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。 ・地元の土砂災害に対する認識度は高い。			
(3)環境適合性		・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 ・透過型堰堤(スリット)を採用することにより、渓流の連続性を確保して生態系の保全にも努める。			
(4)優先性		・流域状況は溪岸の浸食・崩壊が激しく、荒廃度が10%を越えているため土石流発生の危険性が高い。 ・想定被害区域内には人家は16戸と公民館及び県道があり、椒地区の人命及び財産を保全するために必要である。			
評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。		